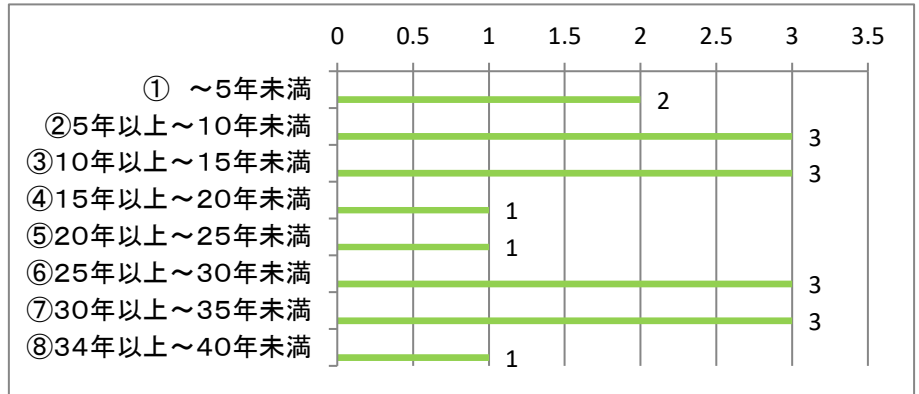


アンケート結果【教員用】

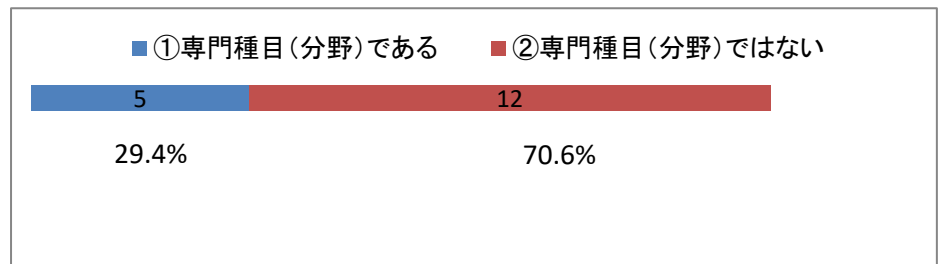
問1 あなたの教員歴は何年ですか？

① ~5年未満	2
②5年以上~10年未満	3
③10年以上~15年未満	3
④15年以上~20年未満	1
⑤20年以上~25年未満	1
⑥25年以上~30年未満	3
⑦30年以上~35年未満	3
⑧34年以上~40年未満	1



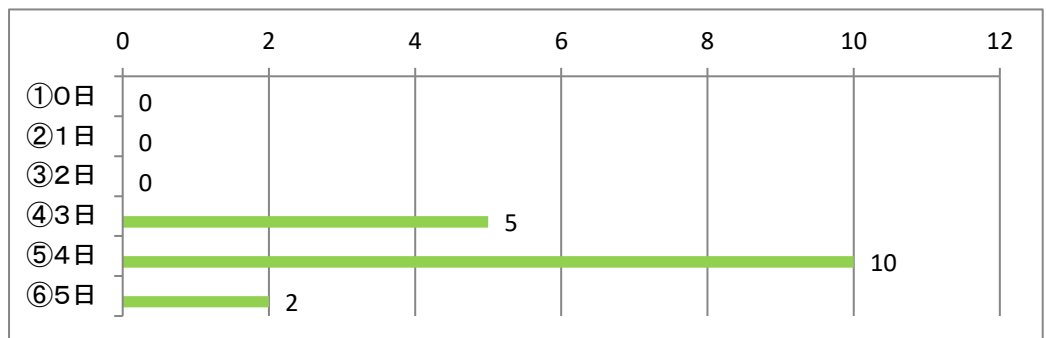
問2 あなたが現在顧問として関わっている部活動種目はあなた自身の専門種目ですか？

①専門種目(分野)である	5
②専門種目(分野)ではない	12



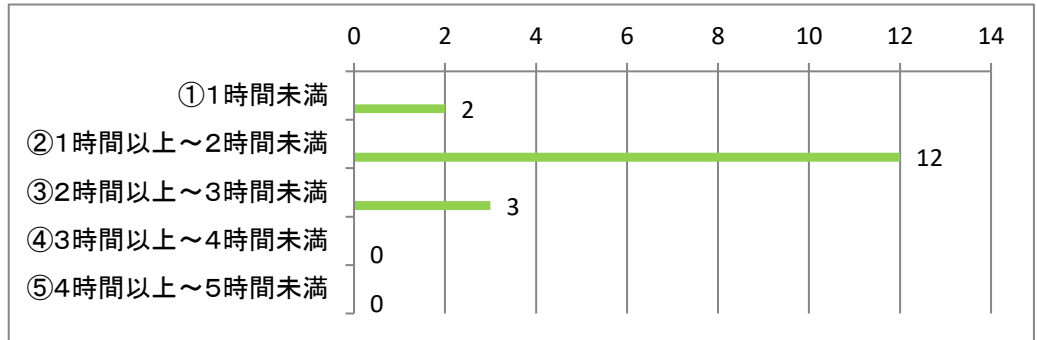
問3 平日(月~金)の活動日数の平均は？

①0日	0
②1日	0
③2日	0
④3日	5
⑤4日	10
⑥5日	2



問4 あなたが指導する部活動の平日一日当たりの練習に費やす時間の平均は?

①1時間未満	2
②1時間以上～2時間未満	12
③2時間以上～3時間未満	3
④3時間以上～4時間未満	0
⑤4時間以上～5時間未満	0

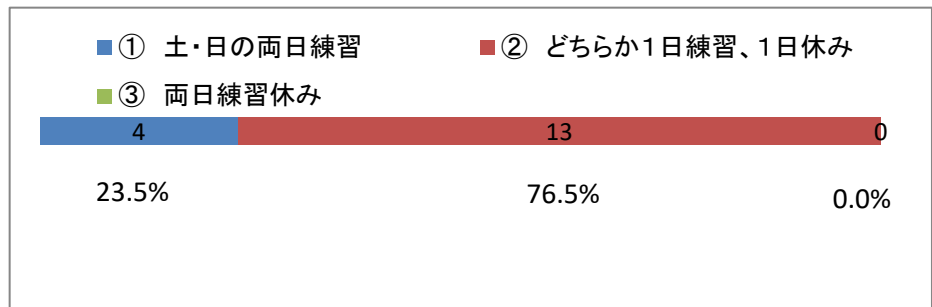


問5 平日(月～金)1週間の練習に費やしている時間はどのくらいですか?

1日2時間程度活動され、約6時間～8時間が一番多く15名であった

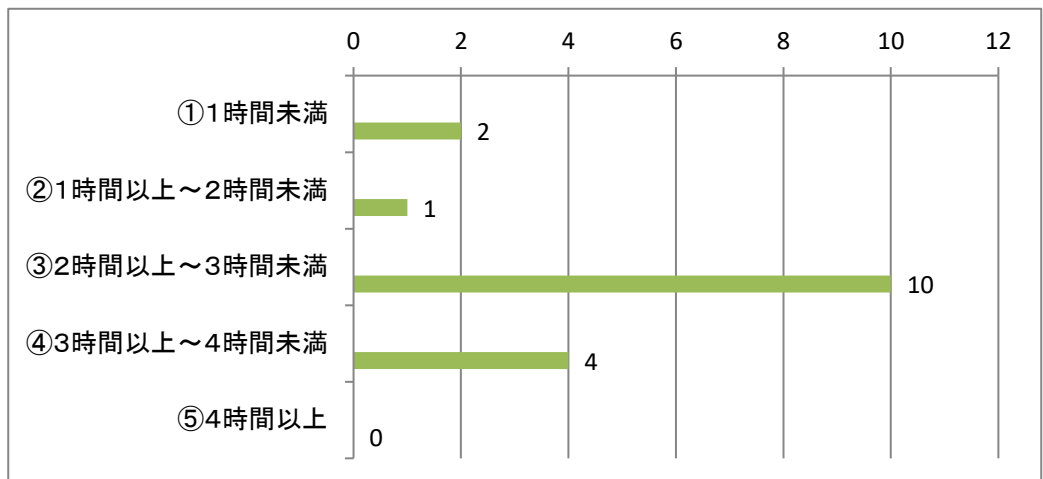
問6 休日(土日)の練習日数について

① 土・日の両日練習	4
② どちらか1日練習、1日休み	13
③ 両日練習休み	0



問7 土活動の休日(土・日)の1日当たりの練習に費やしている時間は?

①1時間未満	2
②1時間以上～2時間未満	1
③2時間以上～3時間未満	10
④3時間以上～4時間未満	4
⑤4時間以上	0

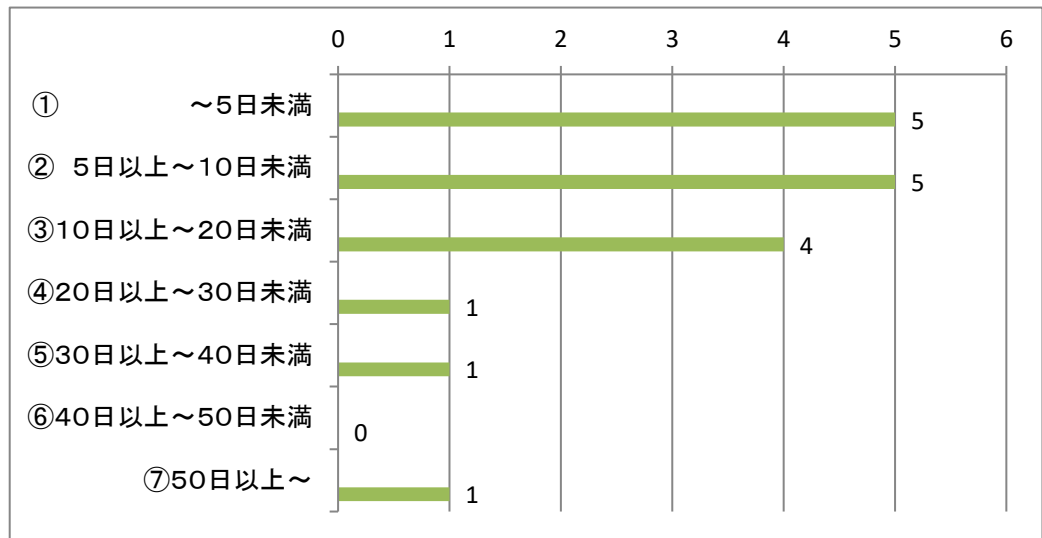


問8 問7で、たずねた休日(土・日)の練習に費やしている時間の合計

- 土日、両方休みの先生は回答者にはいない。
- どちらか一日休みの回答者： 2時間～4時間
- 両日練習する回答者： 6時間～12時間

問9 あなたは学校外での試合や遠征の日数は年間で費やしている日数

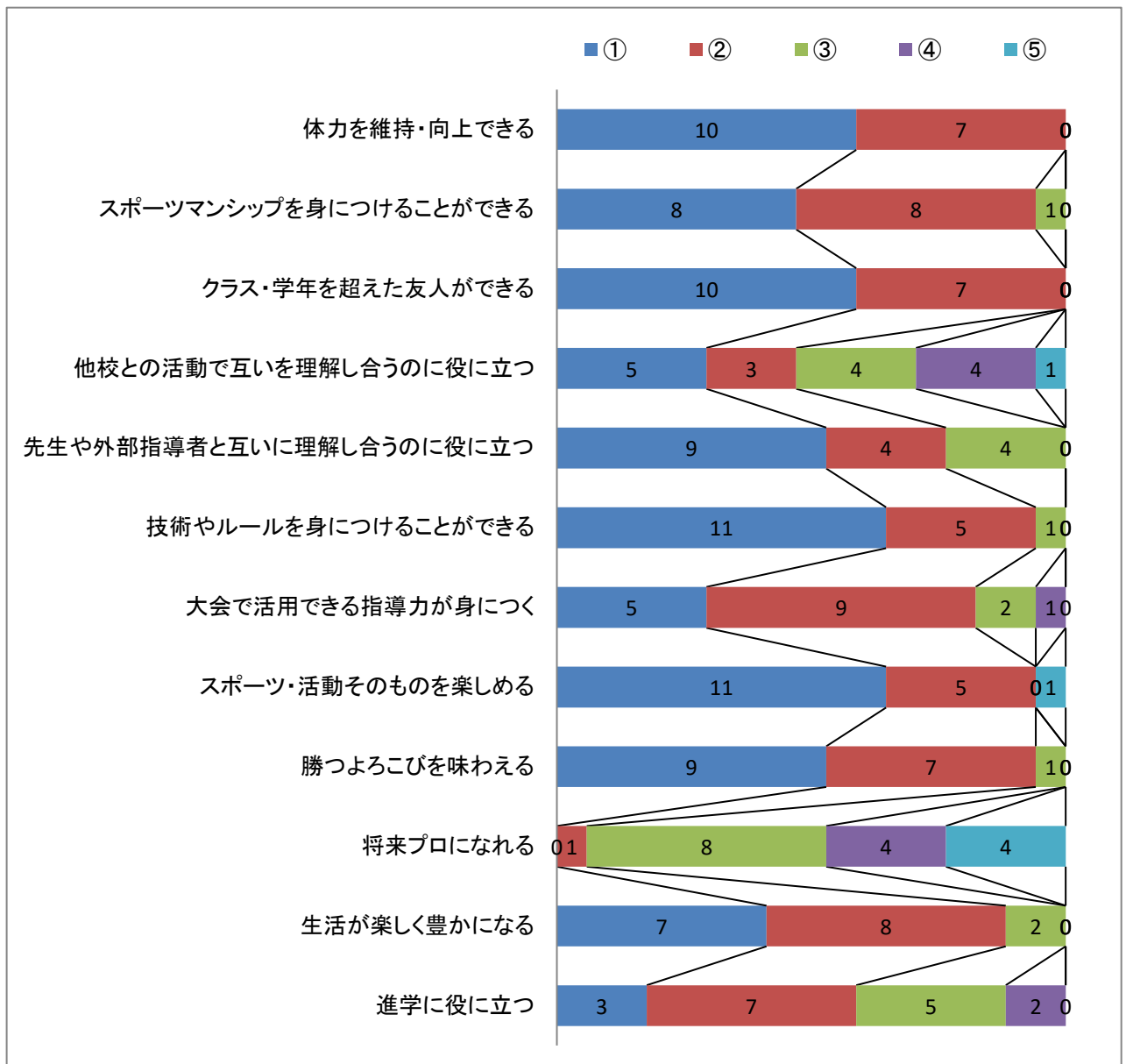
① ~5日未満	5
② 5日以上～10日未満	5
③10日以上～20日未満	4
④20日以上～30日未満	1
⑤30日以上～40日未満	1
⑥40日以上～50日未満	0
⑦50日以上～	1



問10 部活動の「意義」について

①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤そう思わない

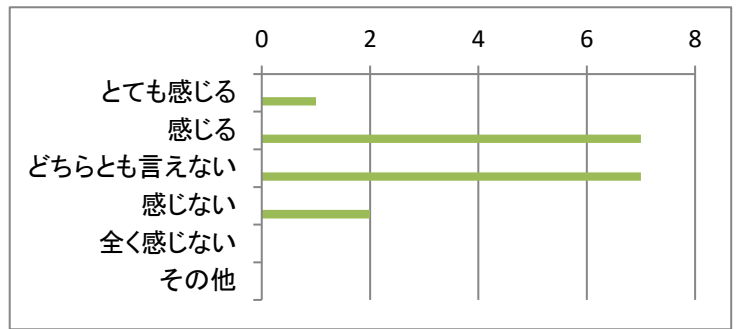
	①	②	③	④	⑤
体力を維持・向上できる	10	7	0	0	0
スポーツマンシップを身につけることができる	8	8	1	0	0
クラス・学年を超えた友人ができる	10	7	0	0	0
他校との活動で互いを理解し合うのに役に立つ	5	3	4	4	1
先生や外部指導者と互いに理解し合うのに役に立つ	9	4	4	0	0
技術やルールを身につけることができる	11	5	1	0	0
大会で活用できる指導力が身につく	5	9	2	1	0
スポーツ・活動そのものを楽しめる	11	5	0	0	1
勝つよろこびを味わえる	9	7	1	0	0
将来プロになれる	0	1	8	4	4
生活が楽しく豊かになる	7	8	2	0	0
進学に役に立つ	3	7	5	2	0



問11 部活動への取り組みとして、やりがいを感じますか

とても感じる	1
感じる	7
どちらとも言えない	7
感じない	2
全く感じない	0
その他	0

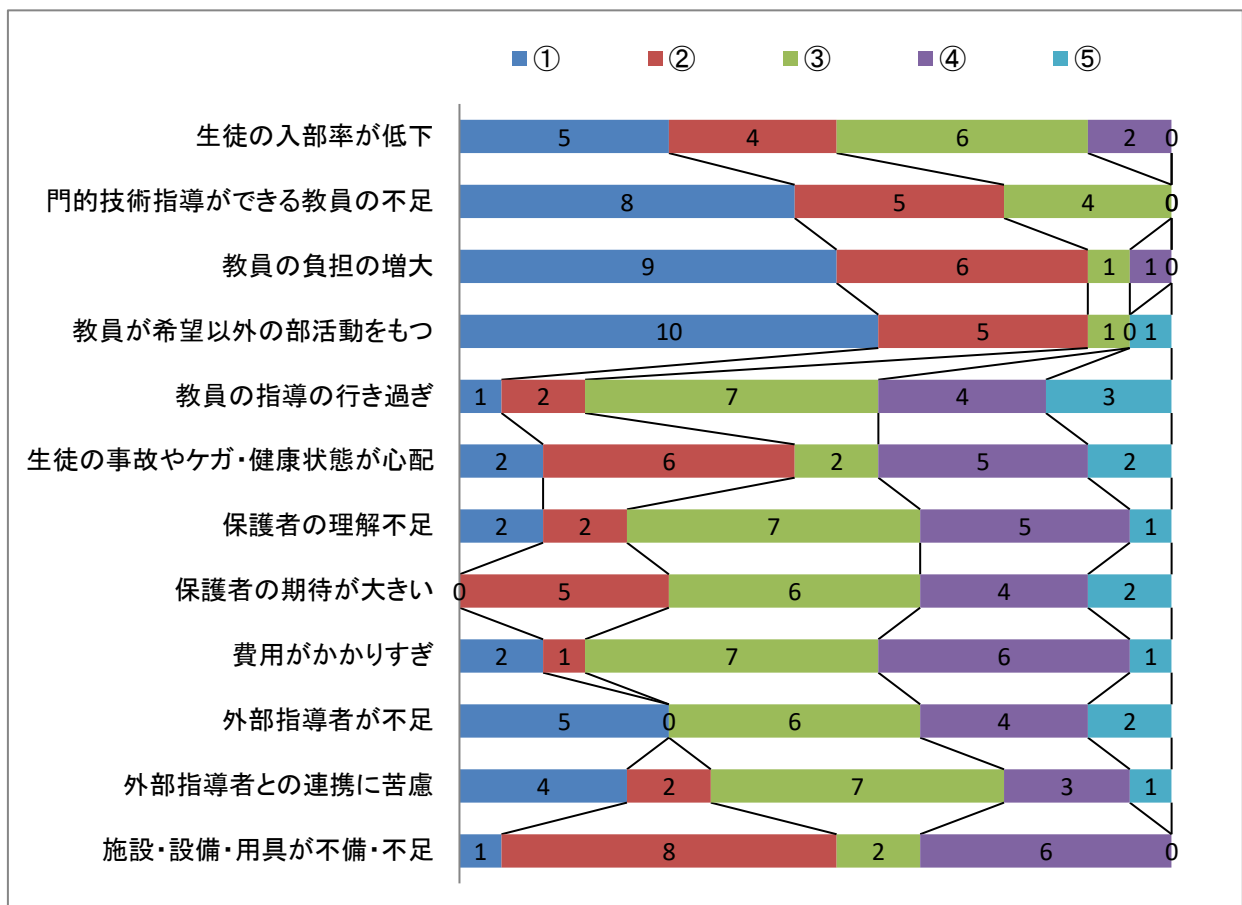
・条件が整えば、やりがいを感じる



問12 学校部活動の「問題点」について当てはまるものは?

①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤そう思わない

	①	②	③	④	⑤
生徒の入部率が低下	5	4	6	2	0
門的技術指導ができる教員の不足	8	5	4	0	0
教員の負担の増大	9	6	1	1	0
教員が希望以外の部活動をもつ	10	5	1	0	1
教員の指導の行き過ぎ	1	2	7	4	3
生徒の事故やケガ・健康状態が心配	2	6	2	5	2
保護者の理解不足	2	2	7	5	1
保護者の期待が大きい	0	5	6	4	2
費用がかかりすぎ	2	1	7	6	1
外部指導者が不足	5	0	6	4	2
外部指導者との連携に苦慮	4	2	7	3	1
施設・設備・用具が不備・不足	1	8	2	6	0

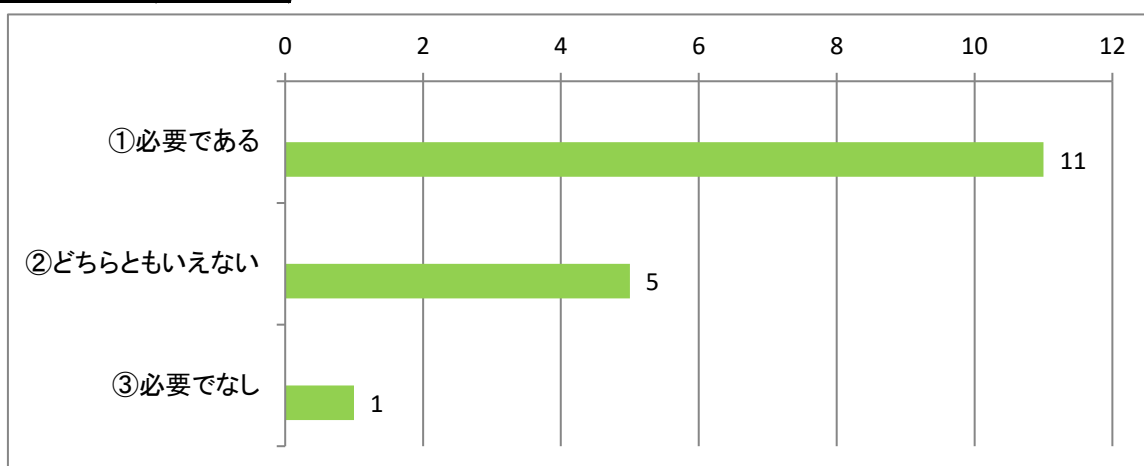


その他、日頃「問題点」として考えていること

- 顧問教員が転勤して、専門的指導ができなくなるチームのその後。
- 部活動をするならするで、どこの学校に行っても同じようなやり方であればやりやすい。
- 同じ学校内でも、足並みがそろっていないようです。県の指針が出ていますが、土日1日の休みや週平日の休みなど守っている部と守っていない部などがあります。また、県の指針を守っていても、長時間労働となり、つかれがとれません。
- 部活動の用具の修理費等、古くなる用具が多い中で、予算を付けていただくとありがたいです。
- 日常の指導も時間を使うが、計画・協議の役割、大会中止、大会役員、審判、大会運営、中体連との連携、監督会議、練習試合計画、保護者会等々、部活動を担当することで、たくさんの業務がその先生に負荷をかけます。指導だけではない・・・その背景にある業務も知ってほしいし、理解してほしい。
部活動は有意義であるがゆえに担当教員への負荷はものすごいものだと思います。また、専門性があり、自ら進んで部活をしたい教員にとっては苦にならないが、逆にそうでいない教員にとっては、全く別次元の問題です。それが1年間ならとうにかガマンできますが、3年・5年・10年となるとものすごい負担ではないでしょうか。
- 練習日・時間などの設定制限がありすぎる。
- 人数が少なく部活動としての取組にムリがある。

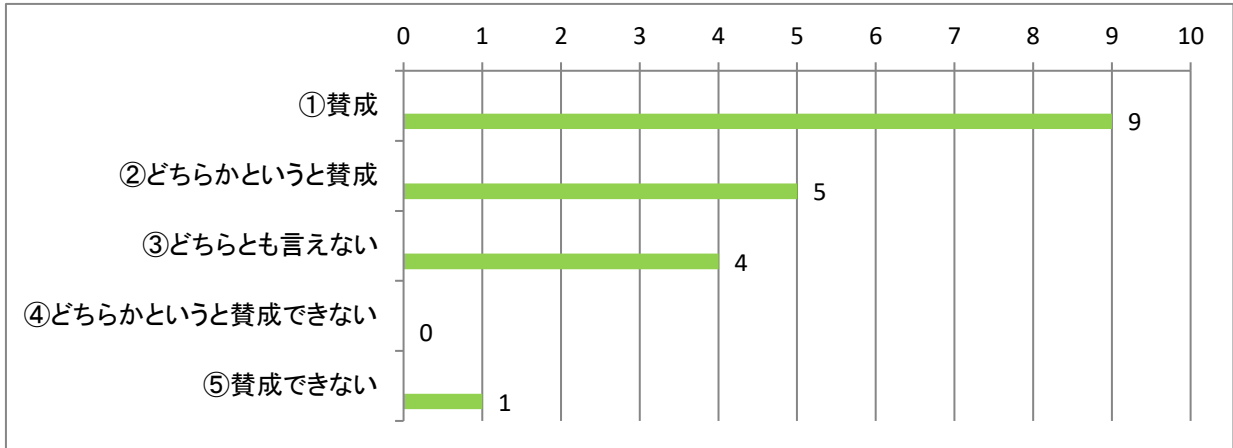
問13 学校部活動における外部指導者の活用は必要であるか?

①必要である	11
②どちらともいえない	5
③必要でなし	1



問14 他校(長洲中)との合同チームとして練習や公式大会に参加することについてどう思うか?

①賛成	9
②どちらかという賛成	5
③どちらとも言えない	4
④どちらかという賛成できない	0
⑤賛成できない	1



⑤の「賛成できない理由」

- ・学校間の校長の共通理解が難しいから
- ・学校間の教員の共通理解が難しいから
- ・学校間の生徒の共通理解が難しいから
- ・保護者の理解がむずかしいから
- ・学校代表チームでなくなるから
- ・大会参加に向けた練習が十分にできないから
- ・参加にあたっての責任の所在が曖昧だから

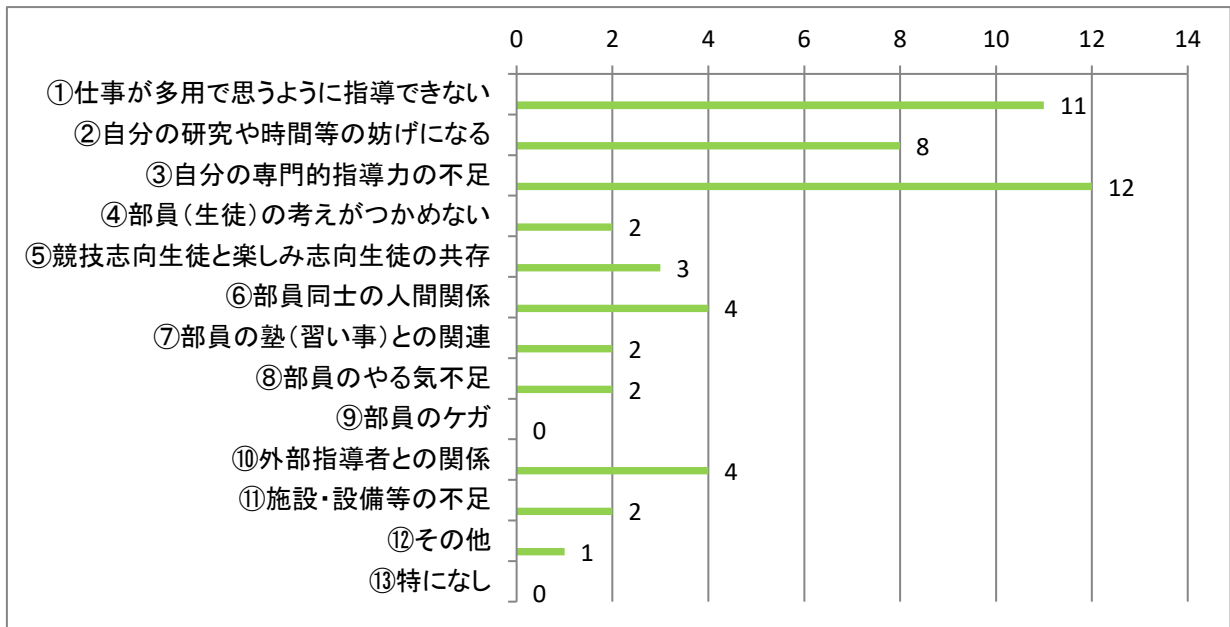
賛成できない教員、一人の意見

問15 部活動の指導での悩みは?

①仕事が多忙で思うように指導できない	11
②自分の研究や時間等の妨げになる	8
③自分の専門的指導力の不足	12
④部員(生徒)の考えがつかめない	2
⑤競技志向生徒と楽しみ志向生徒の共存	3
⑥部員同士の人間関係	4
⑦部員の塾(習い事)との関連	2
⑧部員のやる気不足	2
⑨部員のケガ	0
⑩外部指導者との関係	4
⑪施設・設備等の不足	2
⑫その他	1
⑬特になし	0

⑫その他

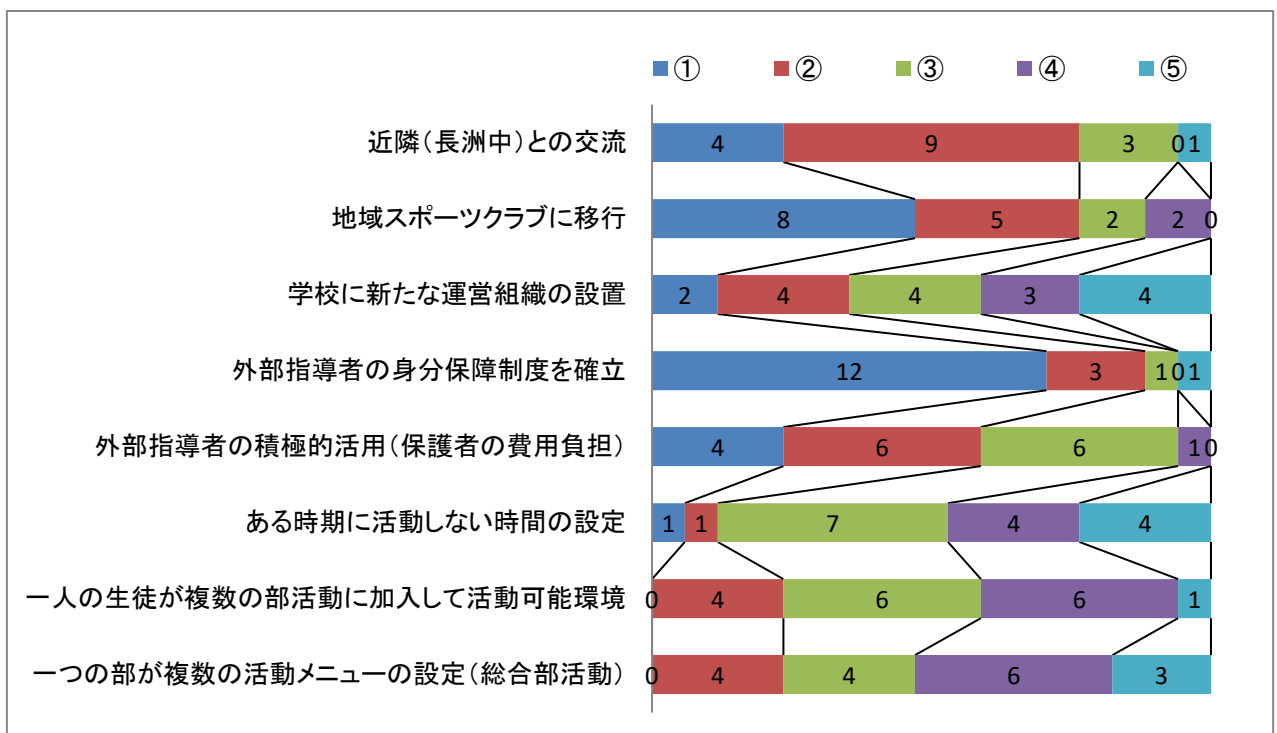
- 部活動に対する学校・教育委員会の考え。
- 自分の都合(家庭状況等)との調整。
- その年の教員の力量で部活動のある一定の期間のみ栄えるのではなく、教員の異動に振り回らせない部活動運営にしていくとよい。地域に根ざした専門性のある指導者と学校、生徒をつないだ方が基盤をつくりやすい。



問16 学校部活動の「今後のあり方」に関して①～⑤で当てはまるものを選ぶ

①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤そう思わない

	①	②	③	④	⑤
近隣(長洲中)との交流	4	9	3	0	1
地域スポーツクラブに移行	8	5	2	2	0
学校に新たな運営組織の設置	2	4	4	3	4
外部指導者の身分保障制度を確立	12	3	1	0	1
外部指導者の積極的活用(保護者の費用負担)	4	6	6	1	0
ある時期に活動しない時間の設定	1	1	7	4	4
一人の生徒が複数の部活動に加入して活動可能環境	0	4	6	6	1
一つの部が複数の活動メニューの設定(総合部活動)	0	4	4	6	3



⑨ その他、あなたが考えるスタイルがあればお書きください。

○ 教員も希望者は、外部指導者扱いで、身分保障制度を確立し、日常の活動や大会へ指導者等として参加できるスタイル。

○ 生徒の可能性を引き出せるように、一つの部活動にこだわる必要はないと思います。社会人の方で(保護者も含め)、指導されたい方など、人材バンクづくりや学校が調整役に入っていくのみで良い状況にすると(勤務時間の大幅な削減にもつながると思います。)

○ 教員に部活動をする、しないの選択権を保障してほしい。(年齢や家族、自分の健康などでNOと言いたいが言えない雰囲気がある)

○ 専門的な指導を受けるためにも、地域への積極的なクラブ運営が必要

○ 指導力のある教員は、クラブで専門性を発揮する

○ 「経済的にクラブで指導をうけられない生徒が部活がなくなったらかわいそう……」とよく言われ、部を残してきましたが、それを多忙な教員が受け皿になる時代はもう終わっていると思います。

○・中体連大会にこだわらず、クラブ化の可能な競技からクラブへ
(指導者・人材育成・選手育成)

・教員もクラブで指導することで、そこでの経験を生かして学校での職務にあたる。
(指導力向上)

・中体連というメイン大会を目指し、それを境に引退のスポーツ文化が学校にはあります。クラブ通年で15歳も指導できる環境があることで生涯スポーツにつながっていくと思います。
(持続可能な活動)

○ 持続可能な部のみ残し、移行できる競技はクラブへ、そうすることで地域の指導者も育つのではないのでしょうか。学校が選手を独占しようとする選手も指導者も育たないと思います。